



- 北海道中川郡池田町では、市街地交通において利用者のニーズが反映できていない部分が多く、農村部においては高齢化がすすんでおりバス停までの移動が困難な住民が多いことから「交通空白地」となっている。本計画による各種取組によって、池田町全域の交通を見直し、改善を図り、運行効率化と利便性の向上を目指す。
- 上記に加えて、バス待合環境の快適化、市街地交通へのデジタル技術の活用なども取り入れながら、公共交通ネットワークの確保および維持を目指す。

事業の内容

事業Ⅰ 市街地交通の最適化

- ①コミュニティバス（あいバス）の再編（イ）
 - 利用者のニーズや実態に応じて路線を組み直す
 - バスマップの全戸配布
- ②JR根室本線、帯広陸別線と連携（定期券保持者は無料）（口）
- ③停留所待合環境整備（ハ）
 - 再編後の結節点となる池田町役場の停留所に、デジタルサイネージを設置しバスロケーションシステムを導入

事業Ⅱ 農村部の有償運送

- ①農村部における自家用有償旅客運送の開始（イ）
 - ドアツードアの運行を行い、農村部の高齢者の移動手段を確保

事業の効果

事業Ⅰ 市街地交通の最適化

- 高齢者や学生の移動の利便性が向上
- 地域間交通との乗継のハードル解消
- 町民の移動、外出しやすい環境づくり

事業Ⅱ 農村部の有償運送

- 市町村と農村部を結ぶ交通ネットワークが整備され、新たな交通需要への対応による新規利用者の増加

作成自治体 池田町
事業実施区域 池田町全域
事業実施予定期間 令和7年10月～令和11年3月
実施事業者 ワインタクシー（株）、池田町

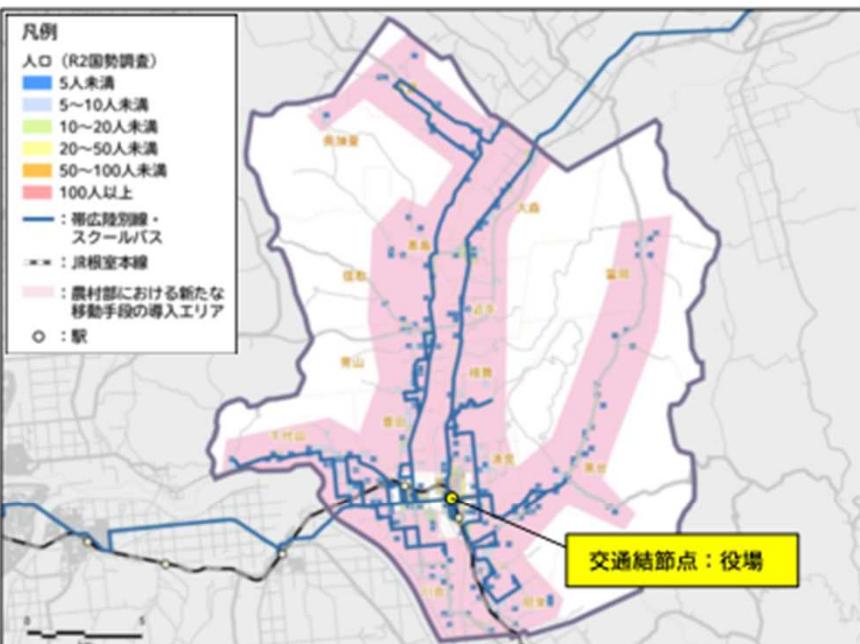


図 2-14 農村部における新たな移動手段の導入エリアのイメージ

